

# 「かりこぼうず大橋」の特徴


この橋の特徴は、長大橋の主要構造部材にスギを活用した点にあり、キングポストトラスには、県産スギ材から製作した集成材をふんだんに使用しています。

平成15年3月に木造車道橋として完成、橋長および最大支間長が日本一となりました。

スギの素材生産量が全国第一位である宮崎県において、この木橋は県産スギ材の需要拡大を図ることはもとより、木材を利用したモデル的施設となっております。

**キングポストトラスとは**

トラス形式（直線部材で構成された骨組構造）の一つで、中央に鉛直な部材（キングポスト）をもつ三角形のトラスを言います。



**集成材とは**

原木から製材されたひき板（ラミナ）を乾燥・選別し、ほぼ繊維方向に重ね、接着剤で積層接着した木材です。集成材のうち、品質、積層数、接着性能、含水率などを定めることで強度を保証したものを構造用集成材といいます。

構造用集成材には次のような特徴があります。

- ・強度が高く性能も均一で、信頼性が高い
- ・単位重量あたりの強度が高い
- ・部材の幅、厚み、長さ、曲率等を自由に設定できる
- ・耐火性が高い

